

若いファッションで 街の意識革命を

■座談会出席者（敬称略・順不同）

岸野 恭 久〈南シンワ洋装店・取締役〉

笹原 勝 彦〈株式会社フォース・社長〉

林 久仁男〈カプリコーン・社長〉

林 行 雄〈株式会社エハヤシ・社長〉

前田 大 蔵〈デイト株式会社・取締役〉

山田 恭 正〈株式会社ウインザー・副社長〉

「神戸も『ファッション都市』を宣言して13年になります。その間、『ファッションタウン』のような、メーカー中心の大規模な動きもあったわけですが、本日はファッション界の最前線で活躍されている若いブティックの経営者の方々に集って頂き、最近の神戸ファッションの動向や、今神戸ファッションにとって必要なものは何かについて語って頂きたいと思います。」



山田 恭 正

「最近、服そのものより生活のスタイルですね。」

山田 神戸のファッションシーンということを考える時、僕なんかまだ街に対して表現しうるだけの自分なりのポリシーが見つからないんです。その点、今まで神戸になかった新しいニーズを開拓されている笹原さんたちにすごく興味があるんですが。

笹原 確かにうちは新しいブランドも扱っていますが、どちらかと言うとメーカーの圧力なんです。押し出されているというのが現状ですね。

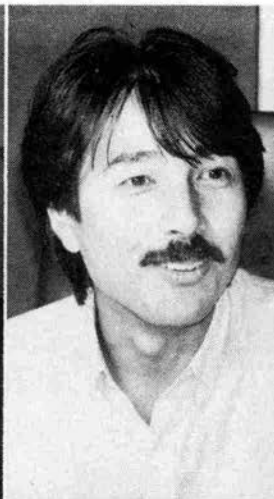
山田 それはそうかも知れませんが、メーカーは常に新しいファッションシーンを作ろうとして企画を練ってますから、どれだけそれに同調できるかが我々の勝負み



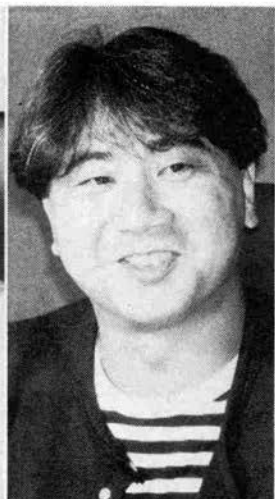
岸野 恭久



林 行雄



林 久仁男



笹原 勝彦



前田 大蔵

いなどころはありますね。

笹原 今は店にイニシアチブはないですよ。昔は、自分が選んできたものを売るといふ喜びもありましたが、今は選択の自由もあまりない。

山田 本当ですね。紳士服でも婦人服でもそれは言える岸野 でも「品揃え型」ショップの場合、そうでもないんじゃないですか。個々の店がポリシーをメーカー側に訴えていって、それに沿ったものを逆に創らせる。それが可能な時代だと思うんですが。

前田 多少の差はあっても、昔のように店のペースで商売できる状況でもないですよ。

林(久) 山田さんにしても、デザイナーズ・ブランドというものを特に神戸だからという意図でやっている訳ではないと思うんです。たまたまそういう風にやらないと生き残れないという状況の中でやってきたことが成功している。流れに逆わずに自然にやっている訳ですよ。ところが一方では、神戸という土地に根を張って古くから頑固にやっている人たちもいる。両極化しているんですよ。そういうスタイルが今ある中で、じゃあ今度はどういうスタイルが考えられるか、ということをご考えていると思うんです。

林(行) 扱う金額があまり大きくなりすぎると、逆にファッションそのものの面白さは小さくなってくると思います。やはり小さな店で自分の趣味にこだわってやっているのが一番面白い。ソロバン勘定が入ってくると違う方向に行っちゃいますね。

——最近の若い人たちの意識なんかはどうご覧になりますか？

山田 もう若くないのでよく分かりませんが(笑)。一つ言えることは、最近は服そのものよりも、ファッションというものを生活のグロスで見る傾向がありますね。

実は、去年の暮にあるパーティーがあって、19・20歳ぐらいの若い女の子の話をいろいろ聞いてみたんです。そしたら「アルフィーはもう終わってる」って言うんで

すよ。なぜかって聞くと「私たちは買い物を楽しみたいから店に行く」というわけ。つまり、服そのものより、どこで、どんなスタイルで買物をするか、という「生活形態」を買いに来てるんです。ですから、ただ商品を羅列しているだけではだめなんです。それを聞いてショックを受けましてね。今回の改装もそれがきっかけなんです。

それから、いつだったか、ニューヨークのある舞台演出家が日本で初めてのショーをやったんです。結果は全然受けずに大失敗。仕方なくそれをニューヨークへ持って帰ってやったら大成功で、向こうで一大ブームを巻き起したんです。ところが、又、それを日本で再演したら、今度はバカ受け。つまり、ニューヨークで流行っているからという理由で受けたわけです。結局、今の若い人たちは時流に乗りたいたいんですね。メジャー志向って言うんでしょうか。

だから若い人たちが、今何を求めているのかを探ってもあまり意味ない。メーカーがどんな服を作ってくれてもいいわけで、むしろ、それをどんな形で売るかの方が重要なんですよ。

岸野 うちも9月1日に新しくオーブンしたんですが、スタイルが大事だというのは正にその通りですね。今回はかなりイメージチェンジしたんですが、そうしたらメーカーは全く変ってないのに客はガラッと変わったんです。やはり売り方なんです。

僕の場合、ちょっと古風かも知れませんが、ファッションというものは、その人の実際の人格より少し上のレベルに見られるようなものでありたいと思うんです。

笹原 うちは、ジュンコパートIIとか神戸で売れるものもやっていますが、一方でアベ・ケンショウのような今まで神戸になかったものも苦勞して売ってるんです。というのは、さっき岸野さんがおっしゃったことも分かりますが、僕はむしろ、それを身につけることによって今までとは違う自分を発見する事、そこにロマンを感じ

るんです。だから、あえて神戸で売りにくいものでもこだわりの持ってしまう。まあ、こだわりだけでは商売できませんから、そのうち見限らなきゃいけない時が来るかも知れませんが(笑)。それまではとことんやりたいですね。

林(久) うちは、最初はメーカーの力で育ってきたんですが、今はそれも抜けて、これから何をしようかという状態なんです。カフェもやめちゃいましたしね。

——なぜやめたんですか？

林(久) 時代の流れでしょうか、今ああいうのをやっても若い子は集まらないんですよ。むしろファッション一本に絞った方がいいと思います。今はブティックに全力投球します。

前田 僕が現場でやり始めた当時思っていたことは、神戸のファッションって「ハイカラ神戸」なんて言うけど、本当は全然おしゃれじゃないんじゃないか、ということなんです。確かに山や海に囲まれていて、街も人も小ざれいにコーディネートされてはいるんだけど、みんな画一的に見えたり。だから、その中であえてマイナーを目指して、自分なりのこだわりを持ってやっていくとしたわけです。

ところが最近、考え方が変わってきた。例えば「衣食住」の中でも、「衣」って所詮二次元でしょ。それも30、40年単位で繰り返しているだけのもの。だとしたら、そんなものに對するこだわりをお客さんに押しつけるのはどうかなあ、という気がしてきました。もっと原点に戻って、お客さんが喜んでくれたらそれでいいんじゃないか、という感じですね。今は淡々とやっています。

林(行) 僕は、生まれは神戸ですが仕事は荳屋でやりますから、割と醒めた目で神戸を見てるんです。今の神戸って大きいようですが、商圏と言えるのはセンター街だけでしょ。たかが五百メートル程度の商圏の中で、いったい何がやれるか、ということなんです。北野もありませんが、あまりセンター街とは融合してませんしね。



「ソロバンだけじゃやれない。みんな好きなんですよ。」
状況として、もっとこうなって欲しいというのはありますか？

山田 昔はみんな街に対する価値観を自分で決めて、楽しくやってましたよ、仲間を集めてね。それが最近、組織的になっちゃってつまらなくなってきた。ただ、今でも好きでやっていることに変わりはないと思う。儲けなくてもみんな満足しますよ。消費者サイドのニーズばかり考えてたらしんどくて続かない。楽しんでるからやれるんです。

笹原 うちなんか、もっとビジネスを考えなきゃいけないところに来てるんです。実際、流通のことはよく知ってますから、それを逆手に取った商売もします。結局、メーカーに早く次の店を出せって言われるから、そのためにお金ためなきゃいけないんです。お金のためにやってるっていう感じもありますね。昔は、純粹に売れば嬉しかったけど、今はあまりそういう喜びはない。僕も山田さんが言ったように、何やっていいか分からないんですよ。考えてやるタイプでもないですが（笑）。

岸野 今はみんな経営者になって数字が仕事になってしまいましたけど、最初はロマンでやってきたと思う。僕の場合、それが理想の女性像なんです。みんなそれ

ぞれ、「こういう女性がいたら素敵だなあ」というイメージを持って、そこからポリシーを打ち出してやっていけば、この世界ももっと活性化すると思うんです。

今は、大手の直営店やフランチャイズ店が増えてきてあまり面白くなくなりましたが、みんなの話を聞いていて、みんなファッションが好きなんだなあというのがよくわかって本当に嬉しいですよ。

笹原 神戸で面白いことをやりたがっている若者は多いと思うんですが、お金がかかりすぎて仲々トライアルできない環境にあると思うんです。結局、ソロバン勘定ができる大企業しかできない。そういう環境の中で、今ここにいるみんなが何をしたいかわからないなんて言っちゃ本当はだめなんですよ。後に続く若い連中のためにもやらないとね。

ところで若者といえば、今トア・ウェストなんか面白い動きがありますね。けっこうこだわってやってる連中が多いですよ。「ジュビドゥビ」だとか「ハットトリック」だとか。「これだけ気に入ったものにこだわって売ってるんだから買え」と言わんばかりの迫力があるんです。林（行） あそこは雑貨屋が多いんですが、たしかに面白い。今ももっとも神戸らしくこだわってやってるのはあの辺ですね。

——他に何か、こうなって欲しいというのはありますか？

前田 少し話は変わりますが、ブティックで働く女の子のステイタスをもっと高めることはできないかなあ、と思うんです。高給を取るとかいうのではなくて、プロとしての評価をもっと高まるべきだと思う。

山田 お客さんに満足感を与えられる人なら、もっと高いステイタスが与えられて当然だと思うんですが、あそこがただで入ってくる人が多い。例えばメーカーとの折衝にしても、私が行かなくてもちゃんとハイレベルの話ができる人、責任感と社会性を持った人がもっと育って欲しいというのはありますね。その点、ヨーロッパのハ

ウスマヌカンなんかはもつと誇りを持ってやってますよ。

笹原 結局、人の問題ですよ。うちなんか独立採算制でやってます。経営的なこともオープンにして、これだけ売ったらこれだけボーナスやる、みたいだね。そうしたら、会議なんかでも自分たちでやってますし、伸び伸びやってますよ。常に言ってるのは、辞める時にヘンスに入ってよかったと思えるように、自分で自分を作れ、ということなんです。最近では、出産後も復帰してきてくれる子もいますし、やりやすすくなってきましたね。だから、ステイタスが低いとは思えない。

岸野 僕もそう思います。うちに来てプロ意識をつかんでいて欲しい。やる気のある人には、適材適所でどんな仕事を任せていきますよ。ちなみに、今僕は営業的なことはほとんどやっていません。やってるのは企画面だけです。もちろん、それもやってくれる人を育てていきますが。

前田 僕がこの問題を提起したのは、人材の資質向上を各店ごとでは工夫してやってるんですが、もつと全体でレベルアップする方法はないだろうかと思うからなんです。例えば業界全体で研修をするとか。

——「さんちか」なんかはやってますね。

岸野 マスでやっても意味ないと思う。マナーは人間としての基本であってプロ意識云々以前の問題ですよ。

——神戸の販売員は質が高いというので定評がありますし、又、神戸で働きたいという人も増えてますから、そういう人たちが大切にして欲しいですね。

最後になりますが、何か神戸ファッションを作っていく上での夢はありますか？

笹原 夢はクサる程ありますよ（笑）。例えば、港に倉庫を買って、そこにこだわりの人々を集めて、好き勝手に商売したいですね。業種にはこだわらずにね。何かそういう泥臭いことをやりたい。まあ、今はお金がなくて無理ですから、老後の楽しみにとっておきますよ

（笑）。

山田 僕は、何か人からうらやましがられる方法で引退したいですね。カッコ良くやる方法はないかと、今考えてるんです（笑）。こんなことを言ったからといって別に服屋が嫌になった訳じゃないんですが、街に対して意識変革ができなくなったから、やってても意味ないと思うんです。又、それができる何かが見つかったら、その時は全然別の形でやりたいですね。それでアルフィーの名前だけは残したい。

岸野 僕の場合、「ファッション馬鹿である」というアイデンティティーを持ち続けることでしょうか。夢はありますがノーコメントです。

——神戸の行政に対してはどうですか？

岸野 アメニティーという割にはないですよ。器ばかり作っているような気がします。

山田 三宮駅周辺を公園にして欲しい。名古屋や札幌は道が整備されているから、どこへでも出店できるんですが、神戸は無理ですね。住むにはいい場所なんです。（林（行））神戸にはもう空いてる場所はないんですよ。今あるものを潰さなきゃ空かない。キャパシティがもう無いんですよ。

前田 行政は何もしてくれないのが一番ですよ（笑）。

笹原 僕はけっこう学生の集団なんかとつき合いあるんですが、神戸の学生はかわいいそうですね。いつも身内だけでチマチマと遊んじゃうんです。その点、大阪の学生の方が自由に発散して楽しんでますよ。もつと僕らが彼らの感性を育てるような土壌を作っていかなきゃだめですよ。

前田 そうですね。結局、若い連中の活力を引き出すことが街を活性化させる一番の近道じゃないでしょうか。

笹原 その通りですね。

——皆さんが、若者のリーダーとして一層活躍されることを期待します。

（ブラン・ドウ・ブランにて）

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



HISHIYAKA

キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上2社の提供によるものです。

話題のひろば

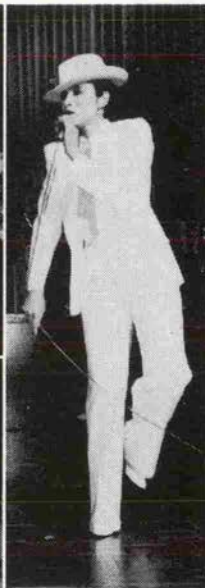
<II>

■神戸ネオトロピカル協会大夜会

5周年に開いた

マリーンナイト

チャリティ



▲瀬戸内美八の唄って踊るショー



上左は真珠とりゲーム。中上は森会長・高木東六・鬼塚喜八郎・望月美佐・初日寿各氏。
下は田辺聖子・川辺純夫・高橋孟さんたちを囲んだネオトロメンバー

音楽と舞踏を通じてのソサエティ神戸ネオトロピカル協会(森美代子会長)が、八月二十三日の夜、5周年を迎えて神戸ポートピアホテル偕楽の間で「マリーンナイト」と銘打って約三百名の人々が集う大夜会を開いた。

楽しい企画でいつも話題を呼ぶパーティは、オープニングに貞松正一郎さんのバレエ海賊で開幕。玉井孝さんの軽妙な司会。森美代子会長のあいさつの後、乾杯は作家の田辺聖子さん。お食事も魚介料理と凝ったもの。

ショータイムは、元宝塚歌劇のトップスター瀬戸内美八さんと宝城さゆりさんの「海」をテーマにしたパンチのきいたファッショナブルな唄と踊りに会場が湧いた。西河昇とフリーウェイオーケストラの演奏で、ダンスタイム。日頃ポートピアホテルのダンスレッスンの成果もあって森原先生共々、軽やかに踊るメンバーも多い。ゲームは、大月、森、木下、高橋の各真珠会社協力の真珠とり。本真珠が当たるとあって参加者50人。望月美佐、藤本ハルミ、岡田美代、加藤きよ子、村上和子、柳本薫、初田夫人、本誌・小泉も交った八人のパーフォーマンスはセーラー服のおにやん子ちゃん登場で大爆笑。

チャリティ抽選会は、売上から里親運動の家庭養護促進協会(橋本事務長)に30万円を寄付した。神戸は神戸らしく、ダンスと交流がスマートな楽しい集いだった。

話題のひろば

<III>

■12/6・7ワールド記念ホールで

孫悟空が

ポニーアイを飛ぶ！

この冬、十二月六日(土)、七日(日)のポニーアイ・ワールド記念ホールで何と、中華人民共和国山東省青島市京劇団約六十名がやってきて日中合作のアクション・ファンタジア「孫悟空」の日本初公演を、関西テレビ放送の主催で開くのだ。

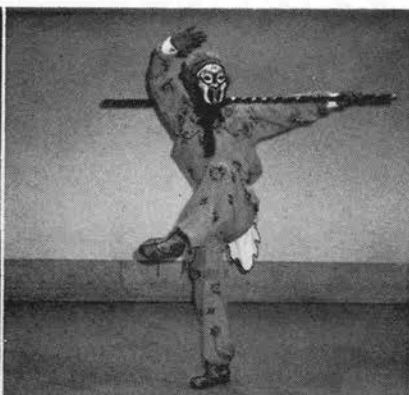
この日中文化国際交流のイベントが、中国の伝統的な京劇団の中でも改革派の若々しい青島京劇団と、世界の最先端をゆく劇場機能をフル活用し、日本のテレビコンサート界の若手トップのスタッフ参加で、日本のヤング層をねらったフレッシュな舞台を神戸で楽しめる。

このビッグイベントに先がけて関西テレビで九月四日に記者発表が行われ、青島市文化局の張演出科長や、青島市京劇団・徐監督、そして、主演・孫悟空役の呂傑さんらと、日本側スタッフの演出家寺崎要氏(38歳)「突然、ガバチョ」さんまのまんま(構成)と、デザインワークの日比野克彦氏らを紹介。

三人のトリプルキャストで、二時間を繰れまくるパワフルな連続大立回りの殺陣を、悟空役の呂傑さんが連続するトンボ切りなどをスタジオで披露して大熱演。

演出も「花道」や、早変わり出法、西川きよしの「語り」など、日中合作の面白さが早くも感じられた。

★12月6日(土)、午後2時半と6時二回公演／7日午前11時と午後3時、計四回公演
／於・ワールド記念ホール S5000円
(前売)5500円(当日)、A4000円
(前売)4500円(当日)、申込/SONG
OKU事務局 06(309)0059(代)



右上/孫悟空の呂傑さん、左上/大立回りの殺陣をスタジオで、右下は青島市文化局と主演、監督らの話をきく、左下は日本：中国スタッフの記者会見風景



● KOBЕ 街づくりシリーズ ●

ニューヨーク五番街と神戸センター街 11月姉妹提携を前に

■
座談会

センター街にNY がやって来た！

本日は、三宮センター街とNY（ニューヨーク）五番街との提携に際して、それまでのいきさつ、催しの内容、これからのセンター街の在り方について、11月1日の提携記念セレモニーを前に、お話しただきたいと思います。

★ いま三宮センター街は

ニューヨーク

岸野 センター街も、もう38歳になるんじゃないかな。日本有数の商店街として、NY五番街との提携はおもしろいんじゃないかというところで、今回のお話を進めることにしたんですよ。

山田 私は実際にNYへ行ってたんですが、何といってもあちらは世界一のショッピング街なので細かいところまで非常に緊張しましたよ。ただ提携の準備ができたのが7月を過ぎてからだったのが、中途半端な時期にするよりは

年末のセールと兼ねた方がいんじゃないかということで、11月1日スタートということに決定したんです。

隈部 私も山田さんに同行したんですが、やはり大変緊張しましたね。最初にお会いしたときに、神戸ってどこなんですか？と聞かれまして。ショックでしたね。

坂田 今回の提携のお話は最初、旅行代理店の方からあったもので少しとまどいもあったんですが、宮崎市長も賛成して下さったり、中小企業庁や県の商業課の方がセンター街の視察に来られたりで、だんだん大規模になってきましたね。我々の方としても特別にPR委員会を設ける段取りをしました。11月1日の認証式には市長にもおいで頂くことになっております。この件の最大の功労者は宮崎市長ですね。

笹山 最初、このお話を聞いたときはセンター街とNY五番街とは、町の感じも商売のやり方も違うし、大丈夫やろかと思ったんですけど（笑）。市長もまあええやないかと言われたもので。将来、センター街も五番街に負けんようにしてもらわんとあきませんね。

長澤 催しの内容としては、11月1日から始まるアメリカン・フェアのオープニングとしまして、1日に宮崎市長をお招きしてのセレモニーをすることになっていきます。その中ではパレードや、アメリカン・フェアにふさわしいギヤルの選出、ストリート・パフォーマンスなど、盛りだくさんなイベントを計画しています。そしてクリスマスにかけて、輸入肉の販売や、アメリカン・グッズの展示など、いろいろな催しを企画中ですので、きっと皆さんにアメリカン・フィリングを充分味わって頂けると思います。

中本 そうですね。ニューヨークといえはやはり、世界のフロンティア精神のナンバーワン都市ですから、洗練された中にも人間臭さを持つニューヨーク色というものをできるだけとり入れて、より一層の街の活性化を図りたいですね。

★日本のセンター街を
世界のセンター街に



中本 伸一

神戸三宮センター街3丁目 商店街振興組合総務部長

隈部 宏

神戸三宮センター街2丁目 商店街振興組合専務理事

坂田 光男

神戸三宮センター街2丁目 商店街振興組合理事長

長澤 基夫

神戸三宮センター街1丁目 商店街振興組合副理事長

山田 六郎

神戸三宮センター街1丁目 商店街振興組合理事長

岸野 利男

神戸三宮センター街連合会会長

笹山 幸俊

神戸市助役

山田 現在、センター街がかかえている最大の問題は、駐車場が少ないということですね。「見る」という観光の楽しみが抜けてしまっているからね。どうにかありませんか、助役さん。

笹山 この車中心の社会において現在の三宮は非常に不便な状態ですね。だから中心から少し離れた所に大型バスの置ける駐車場を作って、そこからゾーンパスというのを走らせて、回ってもらおうという計画も考えているんですが、隈部 それはいい案ですね。

中本 メーターパーキングを増やすというのはどうでしょうか？

坂田 駐車場の問題もそうやけど、神戸はやっぱり国際都市やから、ぜひとも神戸沖には空港が欲しいですね。21世紀の未来像として、空港があつてそこから出入りするというのが夢ですからね。

笹山 そうですね。神戸の計画として一番実現が難しいのが空港ですからね。昔から神戸は外国からの窓口として栄えた町だから、これから先も国際都市として海だけでなく、空の玄関にもなれるよう早く実現したいですね。

坂田 センター街はこれから毎年アメリカン・フェアを続け、いつかセンター街の入口にモニUMENTを作ろうという案もあるんですよ。そして我々の夢としては、

アメリカに限らず世界中を視察して、その中で印象に残ったものを取り入れて、神戸国際都市の名に負けない商店街にしたいですね。どうですか。いろんな国と姉妹提携を結ぶというのは？神戸はパタ臭い街だから、パタ臭い状態になると思いますよ。

長澤 私も坂田さんの意見、いいと思いますよ。ニューヨークの場合は、神戸だけだなしに世界中多くの街と提携しているの、逆に神戸も、センター街とあちこちが提携したらいいなと思いますね。

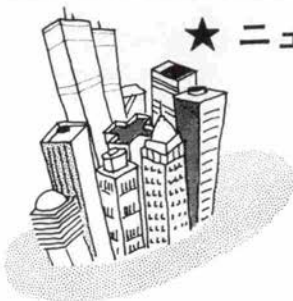
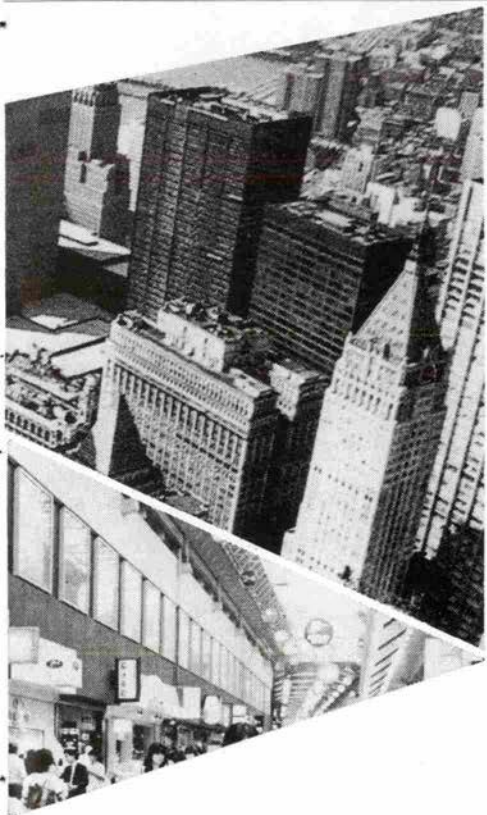
各国と提携して、世界のセンター街というイメージを作った方がいいですね。アメリカン・ウィークとかアジア・ウィークとかやっていったらおもしろいだろうなあ。

中本 神戸の町は独自の個性をもっているの、あえてどこの国とふさわしいというのじゃなく、私個人としては、どこの町とも融合していくと思いますね。センター街は神戸のリーダーショッピングストリートですから、今回の提携を機に、より一層国際感覚を身につけ、また、ヤングリーダーの育成にも力を入れていきたいですね。そして洗練された中にも庶民感覚のあふれる、世界の三宮センター街へと、夢はどんどん広がりますね。

△ブラン ドゥ ブランにて▽

三宮センター街姉妹提携記念

——いま三宮センター街はニューヨーク



★ ニューヨーク・スクエア ★

イーストコーストの風が、ボくらにNY気分を運んでくる。三宮センター街を歩けば、君はもうニューヨーカー! ボリュームたっぷりのアメリカ食肉販売コーナーや本場ブロードウェイミュージカルのポスター・グッズの直販など、すっかりニューヨークしちゃって。ほかにも、秘蔵のメトロポリタン美術館レブリカ・チャイナ商品の展示にアイラブNYグッズとポスターの販売などなど、ニューヨーカーになれるチャンス、逃がす手はないゾ。

I LOVE
NEW YORK

★お楽しみグッズプレゼント★

センター街をカッポするきみに、耳よりのニュース。フェアの期間中、毎週毎週お楽しみグッズがプレゼントされるよ。投票用紙に記入して申し込むだけ。プレゼントグッズも週ごとにいろいろ変わるから楽しみも増えるよね。当たる当たらないは運次第だけどやっぱりチャレンジしてみなくっちゃ!

今やNY情報は、ボクたちの手にある——てわけで、最新情報が満載されたミニコミも発行される。これ一冊あれば、すぐにもニューヨーカーになれることまちがいない!

「スマート・ケチ」な神戸っ子にうれしいことには、ショッピングのディスカウント券もついているというんだから、これゼッタイ見逃せないヨ。センター街のミニコミBOXに置く予定なので早いところらっとくべし。

★ミニコミペーパー★

(但し、変更あり)



1丁目・2丁目・3丁目



祝・ニューヨーク五番街

NEW YORK CITY FAIR

★ セレモニー ★

(11月1日センター街1丁目入口)

メインイベントとして11月1日(土)に三宮センター街でセレモニーが開催される。ニューヨーク5番街と三宮センター街とが姉妹提携するなんて、まるで夢のようだけど、宮崎神戸市長もニューヨーク市長も大いに喜んでいる。当日は、神戸消防音楽隊の国歌演奏“星条旗よ永遠なれ”でもうアメリカンムード一色。ジョン・デンバーの独唱もあれば言うことないんだけどネ…。ニューヨークからの電話メッセージや祝辞もあって、セレモニーも盛り上がりそう。そして同音楽隊のドリルショーや1丁目～3丁目まで風船をくばってあるくパレードなどなど、センター街はワイワイお祭りさわぎだ。



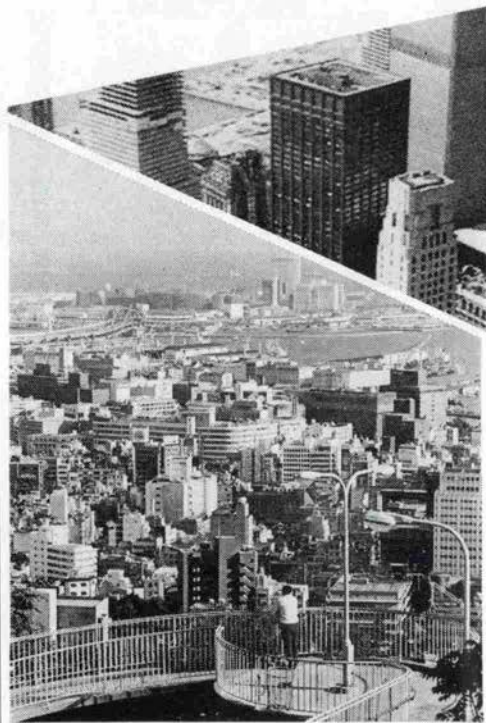
★USAグッズショップ★

新しモン好きの神戸っ子なら、アメリカン・グッズはいろいろ知ってるはずだよ。それでもいっぱい新しいモンや珍しいモンを集めた“USAグッズショップ”をのぞいてみると思わぬ収穫があると思うよ。家庭雑貨のアレコレ、文具やインテリア小物、ノベルティなどNY直の代物が満パイよ。

★デコレーション★



てわけで、もうなんてったってセンター街はニューヨーク色なんだけど、さらに雰囲気をもいしょするのが、街のデコレーションなんだ。11月21日までは、ニューヨークのシンボルのマンハッタンとアップルをメインにしたフラッグが飾られ、クリスマス近くになるとトランペット・ペナントやひいらぎも飾られる。センスアップしたセンター街に好奇心旺盛な神戸っ子たるモノ、全員集合せよ！



三宮センター街連合会

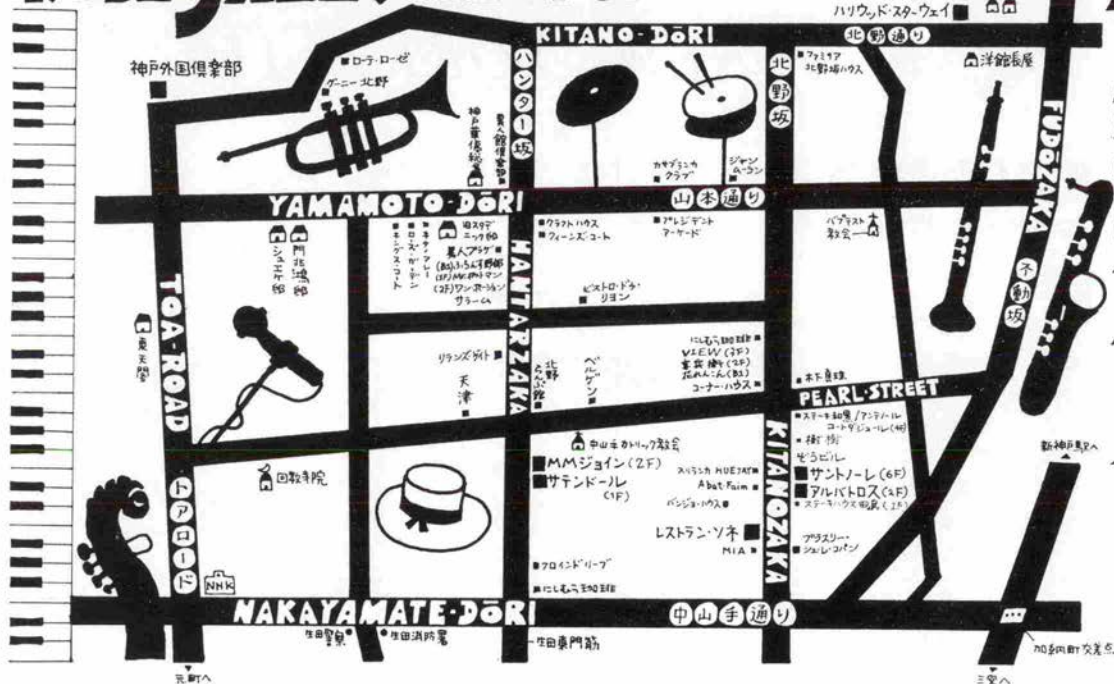
KOBE JAZZ STREET '86

■サローネ・サルーテ

シアター・ポシエット

ハリウッドスターウェイ

神戸ジャズストリート



ジャズ・コンベンション”の常連
ボブ・バーナードとクリス・タペ
レルも特別出演、笈田敏夫、アン
リ菅野、ドーリー・ペーカー、北
村英治などお馴染みのメンパー
に、ソネトリオ、サテンドール・
ユニット、小曽根親子カルテッ
ト、滝えり子トリオ、サントノー
レ・グループなど神戸のジャズメ
ンが勢揃いする。

ジャズの演奏会場は、在神外国
人の社交の場となっている神戸外



北野の10月はジャズファン・グルメファンを満足させる

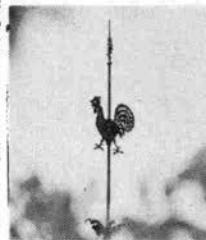
★KOBÉ UPTOWNに
ジャズが流れる

芸術の秋、食欲の秋、北野にジ
ヤズの流れる季節。5回目を迎え
る“神戸ジャズストリート”が今
年も10月11日(土) 12日(日) 12
時から17時まで開かれる。

今年は姉妹都市シアトルからア
ップタウン・ロウダウン・ジャズ
バンドが初参加するほか、四十年
の歴史を持つ“オーストラリアン

国倶楽部。神戸のライブスポットの草分け的存在のソネ。アダルトなムードのアルパトロス。愉快なメンバーのハッピーな音楽いっぱい。サントノーレは17周年を迎えた。若者に人気の店、サテンドールはベース、ピアノのデュオと女性のヴォーカル。M・Mジョインは小曽根実を中心としたハウスバンドがゴキゲンにスイングする。旧パナマ領事館のハリウッドスターウエイ。銀幕に流れるしっとりとしたジャズもなかなかのもの。今年初めて会場になったサローネサルーテは白木造りの素敵なおフロア。これら8つの会場はワッペン

1枚(2800円、当日3000円、両日通しは5000円)で自由に「はしごジャズ」が出来る。また10日の19時からは神戸外国俱



足の向くまま気の向くまま北野巡りを

楽部でフォーマルダンスパーティーが前夜祭として行われる。一日ジャズに酔いしれた後、余韻にひたりながら、北野で食事をすのるもまた素敵。三田肉の指定第1号店となった「和黒」、炭火焼

の逸品がこたえられない「田島」。あなたのお好みのステーキは? 「樹樹」ではこれまでとは一味違った新しい感覚の中国料理が楽しめる。ハンター坂にある「クイーンズコート」は新鮮な海の幸がいっぱい。つたの茂りが美しい、会員制のにしむら珈琲北野店。二階は本格的なレストラン「ジェ・ラ・メールにしまら」で、ムーデイにフランス料理を味わえる。そしてコートダジュールでグラスを傾けてみては? アルパトロスや、サントノーレを覗けば、昼の興奮そのままにライブが聴ける。北野でスイング&グルメリませんか。

<p>CINEMA MUSEUM <i>Hollywood</i> KOBÉ KITANO <i>Starway</i> TEL221-3779</p>	<p> リスボンスの空間 シアター・ポシェット TEL242-3959</p>
<p>グルメの集うサロン  Queen's Court TEL242-2469</p>	<p>レnga造りの本場フランスレストラン シェ・ラ・メール にしまら 会員制にしまら珈琲北野店2F TEL242-2467</p>
<p> Coted'Azur TEL222-7222</p>	<p>気品の香り 神戸ビーフの世界へ誘う あぶり肉工房 和黒 TEL222-0678</p>
<p>ミュージック・ラウンジ サント*ノーレ TEL221-3886</p>	<p>スタンダードジャズに酔って  ALBATROSS 神戶アルパトロス TEL231-3320</p>
<p>神戸肉 炭火焼ステーキハウス  田島 TEL241-3434</p>	<p>新しい感覚の中国料理です  樹樹 中国料理 TEL231-5551</p>

★ボディにフィットしたスリムライン ジパン
ン・ヌーベル・ブティックコレクション
フィットしたウエストからつくストレー
トなボトムラインが今年話題の、ジパン
・ヌーベル・ブティックのショーが、8月26
日、神戸ポートピアホテル・和室の間で開か
れた。今年は黒をはじめ、深みのあるシタ
ン色のスーツ、ブライトカラーをふんだんに
使った鮮やかなドレスなど、クラシックな感
覚で統一された作品群。ベイズリーなどのブ



今年話題のボディ
コンシャス

リント地や刺しゅうを使い、流行のエスニッ
ク調を漂わせていた。

作品は全部で51点、8人のモデルが次々と
披露し、会場の女性らのため息を誘ってい
た。お求めは大丸神戸店 電話(078) 33
118121

★インナーウェアもスポーティー感覚で

若者たちの間で人気の、東京ではもうお馴染
み、ホームズアンド・ウェアのハリウッド
ランチャケットの商品が買える「024 INC」
が8月23日、三宮町3丁目にオープンし
た。下着というと、ロマンチックなレースも
のが頭に浮かぶが、ここではストラップや水



"024 INC" 大西店長

玉などスポーティー
ボディで健康
的なイメージ
のばかり。パ
ジャマやホ
ムウェアな
ど、そのま
ま町へ着て
行けるデザ
インだ。

ラッピングも、自分で好きなリボンが選べ
るようになっていて、プレゼントには最適。
電話(078) 39117085

★フォー・マル専門のレンタルブティック「シ
ンデラ」センタープラザ西館にオープン
した。結婚シーズン。フォー・マルドレスの新
調となると、一式何十万円。それを最低一万
円でトータルに揃えられるうれしいお店がオ
ープンした。結婚式だけでなく、謝恩会、
入学・卒業式、私的なパーティなど女性
は盛装する機会が多い。いっしょと違う思
いきたかっ



その場でトータルコーディネートができる

うがしてみ
たいとい
うのが女
性の心理
。ここ「シ
ンデラ」で
は、妊婦、
子供用も
含め、ド
レス350
点、バッグ
、小物ア
クセサ

り250点が揃っている。
またメーカーショップ、フォトスタジオなど
も完備。2000円でシンデレラメンバーズ
に入会すれば、終身10%引きでレンタル(期
間3日間)できる。また10月末までに予約(使
用日はいつでも良い)すればドレス1着10
00円の料金でサービスしている。
電話(078) 35111001

★リファームを装う「絹の色どり」

リファームされた着物のドレスパーティー
が10月22日(水)12時より会場6500円
(食事付)で、北野の和食店「利宮」で開かれ
る。



自作の大島紬のスーツを
着た服飾デザイナー藤井
さん

先斗町舞妓衆10数名による「素ばやし」など
のイベント。また最終日には「東洋と西洋の
出会い」をテーマに、ユウ・ナガハタデザ
インによるファッションショーが行われた。



ファッションショー風景

★「日本の風」光・音・彩
京都・神戸の呉服商のグループ「風」が、
9月6日・7日、国際展示場で展示会を開催
した。京都の染色作家・長谷川忠義氏デザ
インによる「世界一大きい着物」、日本の代
表の染色作家による約70点の作品の展示、京



長い黒髪が魅力の安田店長

品を仕入れてくるらしい。天井も高く、昔の
ふんいきがそのまま残っているこのビル。こ
んな洋服店にびったりのスペースだ。
電話(078) 33116168

★大正時代の香りが元町に...

元町浜側の大丸ビル一角の付近が、おもし
ろくなってきた。ビル自体が、大正時代の建
てもめのか、お店も大正の香りがするもの
ばかり。そのなかで、名前からして過激な
「突撃洋服店」。神戸ではまだ少ないアン
ティックのお店で、中高生たちがお客
の大半とか。洋服ばかりでなく、グ
ラス類などの食器や時計、着物、ト
ラックまで。
店長の安田さん
が毎月、全国各地
の市へ出かけ、商

歌、小田至のピアノで、デザイナー藤井美智
子さんの着物の世界が繰り広げられる。また
24日・26日には、10時半から19時(26日は18
時まで)まで田崎真珠3Fのフレックスギャ
ラリーで着物と着物地で作られた洋服の展
示会が開かれる。お問い合わせは、モードメイ
トミチコ 電話(078) 43118051まで

'86-'87 AUTUMN WINTER SERIZAWA COLLECTION



イタリィでみつけたエレガンス。
コートは冬の街に、薫るのです。



serizawa
KOBÉ

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-B TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ ■KOBÉ・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



フェンディは家族の絆が強いといわれているイタリア社会の典型で、1918年にアデーレ・カサングランデが創業以来、現在は5人の娘達がビジネスを支えている。長女が毛皮、次女が皮革、三女がブティック、四女がプレス、五女が毛皮工房をそれぞれ担当し大きな成功を収めている。充実した内容でフェンディブティックはこの秋、新装オープン。

■心ゆたかに■

毛皮のみならず モードをリードする

が、本当は毛皮だったんですね。や兄の評判も上々です」長い髪がチャーミングな加奈子さんは宝塚にお住まい。お母さまとのショッピングはいつもバレロアイアルだが、フェンディの服は色使いのセンスが良く、とても着やすいそうだ。

「フェンディ」といえばファッショナブルな毛皮で有名だが、加奈子さんも、この冬に向けて早速黒ミンクのハーフコートを買ってもらった。来年から社会人になるがフェンディファッションはキャリアレディにも相応しいコーディネートができてう。



「そごうの展示会で、今着ているオレンジの服を見つけ、いっぺんに気に入りました。それ以来、フェンディ一辺倒です。フェンディ」といえばバッグのイメージが強いです

中村 加奈子さん

〈甲南女子大学4回生〉

極める時代 ● そごう
贅沢コレクション
〈XIV〉

ROYAL SALON

パレロアイアル

新館5階



valentino garments
ヴァレンティノ・ガラヴァーニ



CELINE
セリーヌ



Aquascutum
アウアスキュータム

Gian Versace

ジャンニ・ヴェルサーチ



FENDI
フェンディ



LANVIN
ランバン



マイセンサロン



GUCCI
BY
JUN MOTOYAMA
グッチ



TRUSSARDI
トラサルディ



ヘルノ



GUY LAROCHE
ギ・ラロッシュ

GIORGIO ARMANI

ジョルジオ・アルマーニ

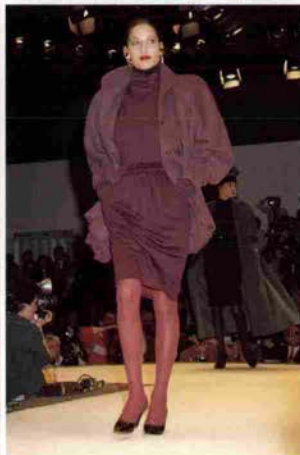
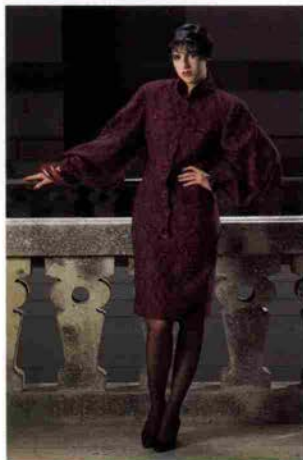


ミッソーニ



HERMÈS
PARIS
エルメス

フェンディ'86〜'87秋冬コレクション



SOGO
SANNOMIYA KOBE

深まりゆく秋に、手づくりの味を。



● 秋・冬物が入荷いたしております。

撮影協力／神戸北野公開異人館展望塔の家

渡邊 洋服 / 粹

東京・大阪・神戸・姫路

神戸市中央区磯上通 8-1-32 グリーンビル TEL 078-251-8501(代)

9:30AM~6:30PM 毎月曜・第3火曜休



オープニングパーティ風景



ヒルトンプラザ店

この秋の話題を呼んだ、
 “大阪ヒルトンインターナシ
 ョナル”の「ヒルトンプラザ」
 2FにブティックNISHIKAWA
 を開店いたしました。
 オープニングパーティには
 沢山お出かけ下さいまして
 ありがとうございます。
 トアロード本店、ナビオ阪
 急店ともどもお引立て下さ
 いませ。 西川 幸利

ブティック

NISHIKAWA

大阪市北区梅田1丁目8-16
 TEL (06)347-7481 (代)

ヒルトンプラザ 2F



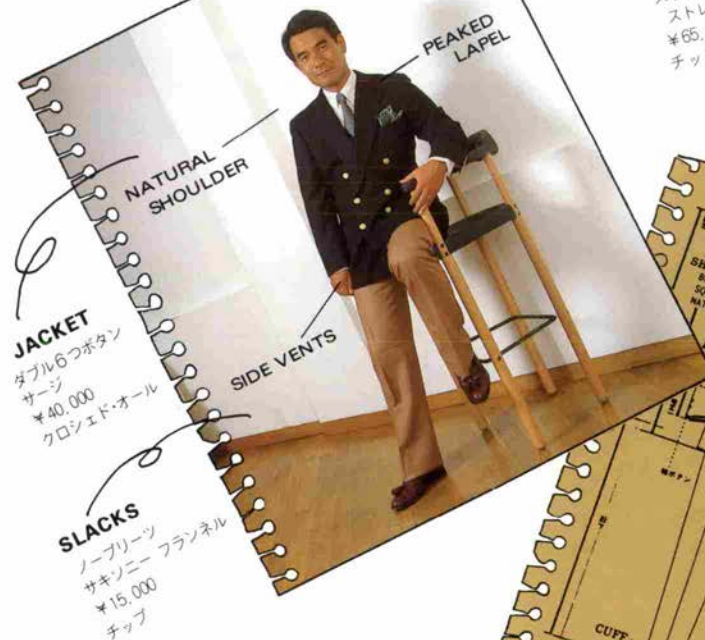
紳士服飾

西

川

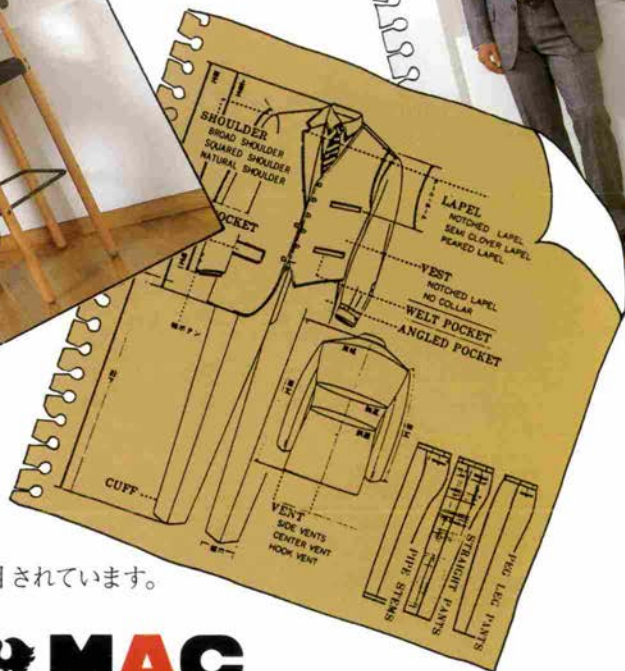
神戸市中央区北長狭通2丁目6-4
 TEL (078)391-1433
 ジパンシー西川/大阪市北区角田町7-10
 ナビオ阪急5F ☎ (06)316-1433~4

専門誌以上にトラッドを
知りたい方……
MACへ。



SUIT

シングル3つボタン段返り
グレン チェック
スラックス
ストレートシルエット
¥65,000
チップ



この秋正統派スーツ、ジャケットが注目されています。



MAC
SINCE 1895 KOBE

本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店/三宮センター街 (078) 391-0895
プレザージュ/トアロード (078) 391-0896
ドルチェマック/三宮センター街 (078) 332-0141

京都店/藤井大丸2F (075) 211-0857
姫路店/FESTA 2,3F (0792) 89-4738
宝塚店/宝塚南口サンビオラ3F (0797) 71-4830

★上方味覚紀行「久」楠本憲吉

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 10月号

「関大人国記」卒業生篇

篠原茂一

創造の世界

田崎真珠海洋生物研究所

孟さんの新風俗記「神戸ワイン城」

高橋 孟

大阪の曲がり角

木津川 計

GOOD LIFE賛歌

佳子ホルム

玄妙禅談

村瀬 玄妙



桂べかこ

★スターハイライト



特集

1. 京阪神
ファッションマンス
2. ニューマテ'86
ジャパン
3. うまいもん神戸

神戸の味を100人の
神戸っ子が推薦します。



関牧翁

(天竜寺管長)

●名医に聞く

「小児アレルギー」三河春樹

■ビッグインタビュー